

2021 年度

自己点検及び評価報告書

令和4年（2022年）3月30日

ループインターナショナル日本語学校

ループインターナショナル日本語学校の自己点検及び自己評価の実施について

実施時期	毎年、年度末の3月末日に実施する。
実施主体	学校評価委員会を設置し、委員会が実施主体としてこれを実施する。
委員会の構成員	事務局長を委員長として、以下常勤の全教職員で構成する。
点検・評価項目	法務省による「日本語教育機関の告示基準」を参考とし、別紙の基準及び点検項目に沿って点検・評価を行う。
点検・評価の方法	事務局長、校長を含む各委員に別紙の点検項目に対し、所定の用紙にて3段階で項目ごとに評価を行い、その評価を集計し、「成果・課題」を分析する。 項目については、委員会にて改善策を議論、提言し、来年度の重点目標に掲げる。 以上の事を自己評価報告書として纏め、自己評価とする。 <u>A：達成されている。</u> <u>B：ほぼ達成しているが、不十分な所もあるので改善に取り組んでいる。</u> <u>C：達成に向けて取り組んでいる。</u>
結果の公表	自己評価報告書については、事務局長決済とし、決済後、本校の設置者である貝塚昭へ提出したうえで、毎年8月末日までに当校ホームページにて評価報告書を公表する。

: 令和2年4月評価基準改正

2022年3月

令和3年度 自己点検及び自己評価

ループインターナショナル日本語学校

1 教育理念・目標・育成人材像 評価

- | | | |
|-----|-----------------------|---|
| 1-1 | 理念・目標・人材育成像は定められているか。 | A |
| 1-2 | 学校の特色は明確か。 | A |
| 1-3 | 学校の将来構想は抱いているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

「和の心」をもった語学教育をとおして、国際交流、グローバル時代に対応した教育を提供し、将来日本、アジア世界各国の発展に寄与できる人材を育成する。

2 学校運営 評価

- | | | |
|-----|---------------------------------------|---|
| 2-1 | 学校の理念に沿った運営方針や事業計画が定められているか。 | A |
| 2-2 | 学校の運営体制が日本語教育機関の告示基準を満たしているか。 | A |
| 2-3 | 組織運営や人事、財務管理に関する規定や意思決定システムは確立されているか。 | A |
| 2-4 | 情報管理などが適正に行われ、業務の効率化が図られているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

運営方針は毎年策定される事業計画の中で方針として位置づけられている。事業計画は教職員が策定し職員会議において決定している。情報システムにおいて、各業務がシステム化され学生の情報を管理する事により業務の効率化推進している。

3 教育活動 評価

- | | | |
|-----|--------------------------------|---|
| 3-1 | カリキュラム構成が教育理念に沿っているか。 | A |
| 3-2 | 成績評価や修了認定の基準は明確になっているか。 | A |
| 3-3 | 育成目標に向けた授業を行うことができる教員を確保しているか。 | A |
| 3-4 | 教員の指導力向上のための取り組みは行われているか。 | B |
| 3-5 | カリキュラム改善に向けた取り組みが行われているか。 | A |
| 3-6 | 資格取得のための指導体制は整っているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

年度初めに全職員会議においてカリキュラム等の確認。体系的なカリキュラムを編成。評価に関しては評価委員会を実施して基準を明確にしている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、入国が遅れ2年進学コースが1年6ヵ月進学コースに変更になりカリキュラム等の変更・修正を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、クラス別に時差登校をさせ、検温・消毒の徹底、マスク着用と各教室におい

て消毒及び換気の実施を行い、コロナ感染対策に努めた。できる限り、対面授業の実施を目指した。

2021年度4月から入国できない学生に対してオンライン授業を実施し、学習目的を明確にして学生のモチベーション維持向上に努めた。

4 教育成果 評価

- | | | |
|-----|----------------------|---|
| 4-1 | 学生の日本語能力の向上が図られているか。 | A |
| 4-2 | 進学率の向上が図られているか。 | A |
| 4-3 | 退学率の低減が図られているか。 | A |
| 4-4 | 卒業生の卒業後の状況を把握しているか。 | B |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学生の理解度を把握し、各教員が共通理解のもと資格試験に対応した教材の提供等を実施。学生の進路希望に合わせた適切な進路指導。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、入国が遅れ2年進学コースが1年6ヵ月進学コースに変更になったがカリキュラム等の変更・修正で適切な進路保証が出来た。

5 学生支援 評価

- | | | |
|-----|-----------------------------|---|
| 5-1 | 学習や進路指導に対する体制は整備され、機能しているか。 | A |
| 5-2 | 奨学金等の経済的支援が整備され、機能しているか。 | B |
| 5-3 | 健康管理を担う組織体制があり、機能しているか。 | A |
| 5-4 | 学生寮や生活環境への支援が整備され、機能しているか。 | A |
| 5-5 | 防災や緊急時における体制が整備され、機能しているか。 | A |
| 5-6 | 保護者や在日支援者と適切に連携しているか。 | A |
| 5-7 | 卒業生への支援体制はあるか。 | B |

<現状・具体的な取り組み・課題>

進路指導部において状況を把握し適切に指導が実施されている。

入学後健康診断を実施し、再診が必要な学生においても提携病院で受診できる。学生寮も提携した業者において適切な留学生活が送れるようにしている。新型コロナウイルスワクチンの接種サポートを行い、全教職員が適切な時期に接種した。

毎年、警察による安全講習を行っていたが、今年度はコロナ感染対策の都合上、講習が依頼できなかったため、校内で教員が講習を実施した。また、防災センターへの研修見学も、実施できなかったため、別途、防災教育を行った。

卒業生へは在籍時と変わらず、連絡手段を確保し、対応を継続し、進学先との連携も行っている。特に卒業生からの支援要請はない。

6 教育環境 評価

- | | | |
|-----|--------------------------|---|
| 6-1 | 学校施設や設備は十分であるか。 | A |
| 6-2 | 学校施設や設備は安全に整備されているか。 | A |
| 6-3 | 図書や教材は適切で最新のものを取り入れているか。 | A |
| 6-4 | 学習効率を図るための環境整備がなされているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学校の建物は自社ビルであり、管理及び保守についても即時対応が出来る。
教材資材は教務室内の書棚に図書、CD、教材ソフト等も整備できている。
リモート授業実施に対応できる機材の確保、教員の研修を行い、臨機応変な対応ができる準備が出来ている。
図書室では自習ができるように案内をしておき、いつでも質問ができる環境を整えている。

7 学生募集と受け入れ 評価

- | | | |
|-----|------------------------------|---|
| 7-1 | 学生募集活動は適正に行われているか。 | A |
| 7-2 | 学生募集活動において学校の情報を正確に伝えられているか。 | A |
| 7-3 | 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。 | A |
| 7-4 | 生徒納付金の額は適正か。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学生募集は年2回（4月・10月）実施している。学生の国籍はネパール、ベトナムが中心であったが、近年、インドネシアとの関係ができつつある。2021年度入国予定だった学生に続き、2022年度にもインドネシアからの受け入れ予定あり。入学選考はオンライン面接で、学習への適正や経費支弁能力の有無などを基準に判定をしている。
納付金は、学校設立時と変更なし。経費支弁者の経済力、学校経営面、両者から見て適正だと判断する。

8 財務 評価

- | | | |
|-----|---------------------------|---|
| 8-1 | 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。 | A |
| 8-2 | 予算や収支計画は有効かつ妥当なものになっているか。 | A |
| 8-3 | 財務について会計監査は適切に行われているか。 | A |
| 8-4 | 財務情報公開の体制はできているか。 | A |

<現状・具体的な取り組み・課題>

当校の経営母体である（株）ループ管財は中長期的に見て財務基盤が確立されている。予算・収支計画のについても理事会で審議され有効かつ妥当なものになっている。適正な会計処理を行い、監事による会計監査を受け、理事会で監査報告がなされ、承認を受けている。財務情報の公開は検討中。

9 法令順守

評

価

- | | |
|--|---|
| 9-1 入管法を中心とした各種法令、設置基準等と適正な運営がなされているか。 | A |
| 9-2 個人情報保護に対する取り組みや対策が行われているか。 | A |
| 9-3 自己点検・自己評価を実施したうえで結果を公表し、その改善に努めているか。 | B |

<現状・具体的な取り組み・課題>

法令や関連基準等の規定を違えることなく運営できている。個人情報が含まれるデータについてもウイルス対策を定期的実施し、個人情報の保護に努めている。自己点検・自己評価を実施し、今後問題の改善に努め公開していくことが望まれる。

10 社会貢献

評価

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 10-1 学校の資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。 | B |
| 10-2 学生のボランティア活動を奨励し、支援する体制があるか。 | C |

<現状・具体的な取り組み・課題>

学校施設の活用や社会貢献、地域貢献は重要事項と認識しているが、今後自治会や地域住民の方々との交流やイベント参加を検討し、実施していきたい。また、学生ボランティア活動についても支援する体制も検討していきたい。